様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和　7年　　6 月　　2 日

京 都 市 長　　宛

提出者

住　所　　京都市伏見区下鳥羽南三町47

氏　名　　株式会社　凜工業

代表取締役　宮﨑　順巳

電話番号　　075-605-0033

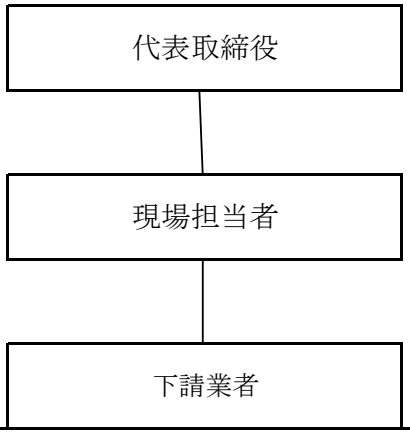
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事 業 場 の 名 称	株式会社　凜工業
事 業 場 の 所 在 地	京都市伏見区下鳥羽南三町47
計　画　期　間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事 業 の 種 類	はつり・解体工事(0796)
② 事 業 の 規 模	10億3千万
③ 従 業 員 数	１3人
④ 産 業 廃 棄 物 の 一 連 の 処 理 の 工 程	産業廃棄物委託契約⇒収集運搬⇒中間処理⇒最終処分

（日本工業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（　　6 年度）実績】 産業廃棄物の種類＿　別紙集計用シートのとおり 排出量＿　t　t （これまでに実施した取組） 廃棄物の適正処理が行われる様、業者や処分量の把握に努めている
②計画	【目標】 産業廃棄物の種類＿　別紙集計用シートのとおり 排出量＿　t　t （今後実施する予定の取組） 現状と同様、把握に努め減量化やリサイクルも考慮する。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 可能な限り分別する
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 同上

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（　　6 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類_	別紙集計用シートのとおり
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t　　t
	（これまでに実施した取組） ・実施していない	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類_	別紙集計用シートのとおり
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t　　t
	（今後実施する予定の取組） ・実施する予定なし	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（　　6 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類_	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	別紙集計用シートのとおり　t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t　　t
	（これまでに実施した取組） ・実施していない	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類_	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	別紙集計用シートのとおり　t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t　　t
	（今後実施する予定の取組） ・実施する予定なし	

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（　　6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	別紙集計用シートのとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計用シートのとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・実施する予定なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（　　6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	別紙集計用シートのとおり	
	全処理委託量_	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・月に数回委託先の現地確認を実施している		

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類＿		
		全処理委託量＿	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（今後実施する予定の取組） ・可能な限り優良認定処分業者へ委託する		
※事務処理欄				

別紙集計用シートのとおり

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

産　業　廃　棄　物　処　理　計　画　書　の　〔集計用シート〕

・下表にない種類の産業廃棄物については，「産業廃棄物の種類」欄に，品目名を記載してください。
・行が不足すれば，適宜追加してください。

産業廃棄物の種類	① 排出量(t)		② 自ら直接再生利用した量(t)		③ 自己直接埋立処分又は海洋投入処分した量(t)		④ 自ら中間処理した量(t)		⑤ ④のうち熱回収を行った量(t)		⑥ 自ら中間処理した後の残さ量(t)		⑦ 自ら中間処理により減量した量(t)		⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量(t)		⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量(t)		⑩直接及び自ら自己処理した後の処理委託量(t)		(⑩= ①-②-③-④+⑥-⑧-⑨ =⑫+⑬+⑭+⑮+⑯)										②+⑧自ら再生利用を行った量(t)		③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量(t)	
																					委託先による区分												
																					⑫再生利用業者への処理委託量(t)		⑬熱回収認定業者への処理委託量(t)		⑭熱回収認定業者以外の熱回収業者への処理委託量(t)		⑮その他の中間処理委託量(t)		⑯埋立処分委託量(t)		⑪ 優良認定処理業者への処理委託量(t)					
法で定められている種類（シュレッダーダストなど 一体不可分のものについては，空欄行に記載してください。）	当該事業場において生じた産業廃棄物の種類ごとの量		①の量のうち，中間処理をせず直接自ら再生利用した量		①の量のうち，中間処理をせず自ら埋立処分又は海洋投入処分した量		①の量のうち，自ら中間処理した産業廃棄物の当該中間処理前の量		④の量のうち熱回収を行った量		自ら中間処理を行った後の量		④の量から⑥の量を差し引いた量		⑥の量のうち，自ら利用し，又は他人に売却した量		⑥の量のうち，自ら埋立処分及び海洋投入処分した量		中間処理及び最終処分を委託した量		⑫の量のうち，処理業者への再生利用委託量(⑬，⑭除く)		⑬の量のうち，認定熱回収施設設置者である処理業者への焼却処理委託量		⑭の量のうち，認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量		⑮の量のうち，委託して破砕等の中間処理した量(⑫～⑭を除く)		⑯の量のうち，直接委託して埋立て最終処分した量		⑪の量のうち，優良認定処理業者への委託処理量		②の量と⑧の量を合計したもの（自動計算）		③の量と③の量を合計したもの（自動計算）	
	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標
燃え殻													0	0					0	0													0	0	0	0
汚泥													0	0					0	0													0	0	0	0
廃油													0	0					0	0													0	0	0	0
廃酸													0	0					0	0													0	0	0	0
廃アルカリ													0	0					0	0													0	0	0	0
廃プラスチック類	34												0	0					34	0									34				0	0	0	0
ゴムくず													0	0					0	0													0	0	0	0
金属くず	5												0	0					5	0									5				0	0	0	0
ガラスくず，コンクリートくず及び陶磁器くず	6,604												0	0					6,604	0									6,604				0	0	0	0
鉱さい													0	0					0	0													0	0	0	0
がれき類	35												0	0					35	0									35				0	0	0	0
ばいじん													0	0					0	0													0	0	0	0
紙くず													0	0					0	0													0	0	0	0
木くず	163												0	0					163	0									163				93		0	0	0	0
繊維くず	22												0	0					22	0									22				12		0	0	0	0
動植物性残渣													0	0					0	0															0	0	0	0
動物系固形不要物													0	0					0	0															0	0	0	0
石綿含有産業廃棄物	10												0	0					10	0											10		10		0	0	0	0
廃石膏ボード													0	0					0	0															0	0	0	0
混合廃棄物（安定型）													0	0					0	0															0	0	0	0
混合廃棄物（管理型）	18												0	0					18	0									18						0	0	0	0
													0	0					0	0															0	0	0	0
													0	0					0	0															0	0	0	0
合計	6,891	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,891	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,881	0	10	0	115	0	0	0	0	0

（注1）トン未満は原則として四捨五入。ただし，数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。